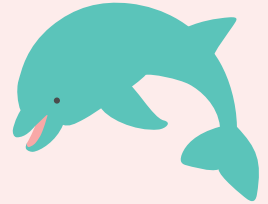


しいの木 ニコニコだよ



プールに入ってもいいの??



① 伝染性膿痂疹（とびひ）

かきむしったところの滲出液、水疱内容などで次々にうつります。プールの水ではうつりませんが、触れることで症状を悪化させたり、ほかの人にうつす恐れがありますので、プールや水泳は治るまで禁止して下さい。

② 伝染性軟属腫（みずいぼ）

プールの水ではうつりませんので、プールに入っても構いません。ただし、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがありますから、これらを共用することはできるだけ避けて下さい。プールの後はシャワーで肌をきれいに洗いましょう。

③ 頭虱（あたまじらみ）

アタマジラミが感染しても、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、タオル、ヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはやめましょう。

④ 疥癬（かいせん）

肌と肌の接触でうつります。ごくまれに衣類、寝床、タオルなどを介してうつることがありますが、プールの水ではうつることはありませんので、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、角化型疥癬の場合は、通常の疥癬と比べ非常に感染力が強いため、外出自体を控える必要があります。

⑤ 蟻虫症（ぎょうちゅうしょう）

蟻虫に感染しているからと云ってプール水泳を禁止する必要はありません。蟻虫卵が感染児童のお尻から遊離して、他の児童の口に入る確率は極めて低いと考えられます。心配するなら、保虫児童は水泳のある日の朝に、良く肛門周囲をシャワーで洗い流しておくだけで十分です。

出典

①②③④：日本臨床皮膚科医会・日本小児皮膚科学会

「皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解」から

⑤：日本寄生虫学会 HP：FAQ（よくある質問と回答）の蟻虫症の項から

